

若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修 実施報告書

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

平成 26 年度

技術委員会

目次

1.はじめに.....	3
2.参加者.....	4
3.全体スケジュール.....	5
4.壮行会.....	6
5.研修.....	7
5.プレゼンテーション報告会.....	10
6.その他.....	16

1.はじめに

近年、マーケットではクラウド、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル等の新しいプラットフォームが登場し、国境を越えてアプリケーションが提供される時代となり、グローバル対応が当然の世界が今まさに到来しつつあります。これからの世界ではグローバルスタンダードへの対応が重要となる事から、エンジニアには広い視野を持ち、様々なテクノロジーに関する情報収集力や自身で仕事を創り出していく創造性が求められております。そこで、技術委員会では次世代を担うエンジニアをオープンでグローバルな視野を持ち、外向き志向で物おじせず自発的に業務に取り組めるエンジニアへと変化を促す事を狙いとしております。研修では米国での英語生活を通じて、異文化コミュニケーションや日本以外の異なる働き方を体験することで参加者に得るものが多い構成としました。

今回の企画では自社のみでは海外研修の実現が困難な会員企業においても少数から参加可能になるメリットや、参加者には自社以外に同様な環境で働くエンジニアとの共同生活から得られる発見や人脈作りにも貢献できるよう考えました。本研修を通じて参加者だけでなく企業側にも益が多くあることを祈念しております。

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
技術委員会 委員長
田中啓一

2.参加者

1) 研修参加者

6社17名

氏名	所属
張 春玲	アイティマークス(株)
大野 亜梨沙	(株)インテリジェント ウェイブ
中嶋 基喜	(株)インテリジェント ウェイブ
豊吉 隆太	(株)インテリジェント ウェイブ
秦 娜	(株)インテリジェント ウェイブ
浦田 陽平	(株)インテリジェント ウェイブ
栗原 直樹	(株)インフィニテック
石田 州一	(株) 大和コンピューター
遠藤 祐介	日本事務器(株)
戸島 拓弥	日本事務器(株)
立石 麻理子	日本事務器(株)
細田 恵	日本事務器(株)
福田 康範	(株)フォーラムエイト
堀田 和里	(株)フォーラムエイト
島田 悠	(株)フォーラムエイト
井上 直也	(株)フォーラムエイト
岡谷 賢	(株)フォーラムエイト

2) 技術委員会：6社6名（五十音順）

委員長：田中 啓一 [日本事務器(株) 代表取締役社長]

副委員長：山本 祥之 [インテリジェント ウェイブ 代表取締役社長]

：小屋 晋吾 [トレンドマイクロ(株) 執行役員 統合政策担当]

：瀧 進太郎 [BB ソフトサービス(株) 代表取締役社長]

委員：下野 文久 [EMC ジャパン(株) エグゼクティブブリーフィングセンター ディレクター]

：富澤 直之 [インテル(株) 法人営業推進本部 技術部長]

3) 研修事業者

－(株)コスモ・コンピューティングシステム

－Cosmo Staff .Inc

3.全体スケジュール

スケジュール			
年	月	日	実施イベント
2014	8	28 (木)	参加者募集開始
	10	1 (水)	参加者募集締切
		15 (水)	参加者事前説明会 －パスポート等の取得手続きを参加者自身で実施
	11	25 (火)	壮行会実施 －参加者間の相互交流を実施
		30 (日)	研修開始 －米国ロサンゼルスにて実施
12	7 (日)	研修終了	
2015	1	31 (金)	プレゼンテーション報告会
		3	11 (水)

4. 壮行会

1) 実施概要

- 一日時：平成 26 年 11 月 25 日（火）18:00～20:00
- 一場所：トスラブ大久保「桜華楼」会議室

2) 参加者

- 一研修参加者 16 名（1 名欠席）
- 一技術委員会：委員 3 名
 - 委員長：田中 啓一（日本事務器(株)）
 - 副委員長：山本 祥之（(株)インテリジェントウェイブ）
 - 委員：下野 文久（EMC ジャパン(株)）
- 一オブザーバ：4 名
 - 伊藤 裕二（CSAJ 理事／(株)フォーラムエイト）
 - 杉本 淳一（CSAJ 理事／(株)コスモ・コンピューティングシステム）
 - 石戸谷 裕英（(株)コスモ・コンピューティングシステム）
 - 小山 忍（(株)コスモ・コンピューティングシステム）
- 一事務局：3 名
 - 前川徹（CSAJ 専務理事）
 - 原洋一（CSAJ 事務局長）
 - 鈴木啓紹（CSAJ 業務課）

3) 実施概要

- ・委員長挨拶：田中委員長（CSAJ 副会長）
- ・委員挨拶：下野委員
- ・海外研修に関する説明
- ・参加者自己紹介：1 名 1 分（名前、所属、担当業務、性格分析）
- ・懇親会開会挨拶：前川徹（CSAJ 専務理事）
- ・懇親会
- ・中締め：山本副委員長（CSAJ 副会長）



委員長、委員からのご挨拶に始まり、参加者全員の前で各々の自己紹介を行うことで参加各位同志の交流を深め、懇親会では研修時の注意事項の説明や委員からの激励の言葉が述べられました。

5. 研修

1) 研修概要

一日時：平成 26 年 11 月 30 日(日)～12 月 7 日(日)7 日間

ー場所：ロサンゼルス市内 Torrance Residence Inn

2) 研修実施スケジュール概要

行程	研修項目／場所	内容
11 月 30 日 半日研修	オリエンテーション Residence Inn	自己紹介、日程・宿泊・食事・外出などの説明、携帯電話貸与、質疑応答など
	英語スキルチェック Residence Inn	英語講師による英語スキルチェック
	英語ハンズオンラーニング DEL AMO FASHION CENTER	屋外課外活動① 各グループに分かれて、講師とともに近隣の大型商業施設を視察
12 月 1 日 終日研修	英語グループ Torrance Marriott South Bay	Greeting, Self-introduction, Getting Acquainted (Business introducing yourself?)
	異文化コミュニケーション講義 Torrance Marriott South Bay	Japan Intercultural Consulting 異文化協力を実現してゆく為のチームビルディングと外国人と上手に働く方法 (実例と失敗談等を交えて…Q&A 含む)
	英語ハンズオンラーニング Torrance Arts Museum	課外活動② 各グループに分かれて、講師とともに屋外に出て
12 月 2 日 終日研修	英語ハンズオンラーニング Farmer's Market (現地朝市)視察	課外活動③→雨天のためレッスンに変更 各グループに分かれて、講師とともにローカルのバスに乗って視察 ※雨天のため朝市が閉店。各部屋にてレッスン実施
	英語グループ Torrance Marriott South Bay	Free Talking, Pronunciation Clinic (Rules for linking) Conversation and listening (Talk about your weekend activities)
	英語ハンズオンラーニング DEL AMO FASHION CENTER	課外活動④ 各グループに分かれて、講師とともに屋外に出て DEL AMO FASHION CENTER"
12 月 3 日 半日研修	キャンパスフィールドトリップ Caltech	大学キャンパスツアー
	技術講義 Caltech	セミナー受講 (AuriQ 社によるビッグデータの解析方法)
	昼食 Caltech	大学内 Althenaeum でランチ
	自由行動	
12 月 4 日 終日研修	特別講義② Royal4 社会議室	技術講義「米国 IT 業界の最新技術動向」 アメリカの IOT、OpenStack を中心に OpenSource、BigData、Cloud など
	企業訪問① Royal4 社	SAP 等のサブモジュールを開発実績で定評のあるパッケージ開発会社
	自社への報告会 Residence Inn	自社（日本）と Skype など
12 月 5 日 半日研修	特別講義 Residence Inn	Hiro Yamaguchi 氏講義 「外国人と働く（グローバルビジネスについて）」
	報告会 Residence Inn	本研修の報告会
12 月 6 日		帰国

3) 研修風景



英語ハンズオンラーニング



各チームに分かれての室内でのコミュニケーショントレーニング



課外活動



技術講義



Caltech (大学訪問)



講義「外国人と働く(グローバルビジネスについて)」

米国ロサンゼルスでの英語生活を経験し、コミュニケーションスキルの座学／実践トレーニングだけでなく米国における IT 最新動向の技術講義等を受講した。また、IT 企業訪問を行い米国におけるエンジニアの働き方について現職の担当者にヒアリングを行う機会を得るなど様々な体験が行った。

4) 所感レポート（個人提出）

- ・ 研修終了、帰国後に個人レポートの提出を実施。
- ・ 実施時期：2014年12月24日～2015年1月9日
- ・ 参加者全員（17名分）提出済み。
- ・ 個人レポートの構成及び条件レポート提出内容
 - ※条件：参加者自身の上席者への報告レポートとして提出可能なレベルで記載
 - ※構成：－報告者氏名
 - －研修スケジュール
 - －各日の研修内容／研修生活において自身が学んだ事
 - －研修全体に参加しての所感

5.プレゼンテーション報告会

1) 実施概要 (参加者)

一日時：2015年1月30日(金) 15:00~16:30

一場所：CSAJ 会議室

研修時のメニューで分類したグループ別の実施チーム(4チーム:@4~5名)を単位にチームプレゼンテーションを実施しました。各チームともタイムキーパ/投影資料作成/プレゼンター等の役割分担を行い、研修で学んだ事を、英語を交えたプレゼンテーションでCSAJ技術委員会/人材委員会の委員等の経営層クラスが中心の聴講者を前に発表しました。聴講側との活発な質疑応答が進められ、アンケートによる評価報告がなされました。

2) 進行表

- ・技術委員長挨拶
- ・海外研修企画の概要説明
- ・参加者4チーム(全17名)によるチームプレゼンテーション(1チーム15min)

以下、プレゼンテーション構成

ー参加者(チーム)紹介

自己紹介の実施。

ー各日の研修内容/研修生活で学んだ事(英語プレゼン含)

スケジュールに沿った自由説明。英語でのプレゼン箇所は各チーム自由

ー今後の目標(英語プレゼン)

スライドは日本語、プレゼンは英語で実施。

ー聴講者との質疑応答(2~3min)

- ・プレゼンテーション順

チームA → チームB → チームD → チームC

3) 聴講参加者

- ・技術委員会：4名
 - 委員長：田中 啓一 (日本事務器(株))
 - 副委員長：山本 祥之 (株)インテリジェントウェイブ)
 - ：小屋 晋吾 (トレンドマイクロ(株))
 - 委員：下野 文久 (EMC ジャパン(株))
- ・人材委員会：4名
 - 委員長：金成 葉子 (株)シー・シー・ダブル)
 - 副委員長：宇野 和彦 (株)スキルメイト)
 - 委員：伊藤 裕二 (株)フォーラムエイト)
 - ：中村 憲司 (株)大和コンピューター)
- ・オブザーバ：3名
 - 西山 康一 (株)インフィニテック)
 - 平泉 道代 (アイティマークス(株))
 - 小山 忍 (株)コスモ・コンピューティングシステム)
- ・事務局：2名
 - 前川 徹 (CSAJ 専務理事)
 - 鈴木 啓紹 (CSAJ 業務課)

4) プレゼンター（研修チーム）

◆グループ A

岡谷 賢 / 株式会社フォーラムエイト
立石麻理子 / 日本事務器株式会社
大野亜梨沙 / 株式会社インテリジェント ウェイブ
豊吉 隆太 / 株式会社インテリジェント ウェイブ



スライド構成が日本的で見やすく安定感のある点が評価されており、英語も含めて全体的に無難に取りまとめることが出来ている優秀なチームでした。

◆グループ B

福田 康範 / 株式会社フォーラムエイト
遠藤 祐介 / 日本事務器株式会社
張 春玲 / アイティマークス株式会社
石田 州一 / 株式会社 大和コンピューター



チーム全員でのプレゼンテーションが高評価を受けており、チーム力/スライド/プレゼン/プレゼン力が高得点で、総合評価の「とても良い」が最もハイスコアでした。

◆グループ C

中嶋 基喜／株式会社インテリジェント ウェイブ
島田 悠 /株式会社フォーラムエイト
浦田 陽平／株式会社インテリジェント ウェイブ
細田 恵 /日本事務器株式会社
栗原 直樹／株式会社インフィニテック



プレゼンターの元気の良さが好評価を得て、積極性に対する評価が高くありました。研修に真摯に取り組んだ臨場感が解説から感じられたチームでした。

◆グループ D

堀田 和里／株式会社フォーラムエイト
井上 直也／株式会社フォーラムエイト
秦 娜 /株式会社インテリジェント ウェイブ
戸島 拓弥／日本事務器株式会社



プレゼンター2名による英語での対話型のプレゼンテーションが好評で、英語力／プレゼン力／積極性の3カテゴリで満点を獲得し、高く評価されていました。

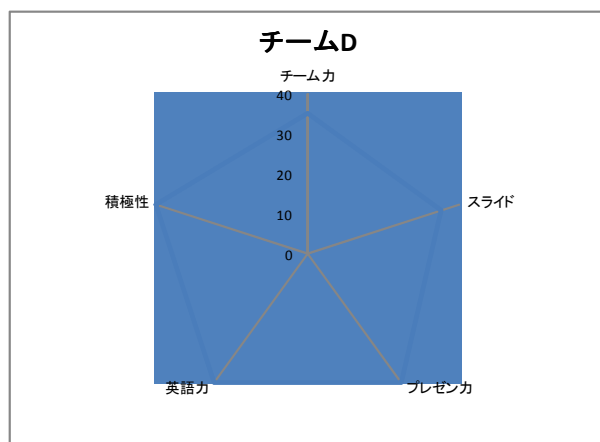
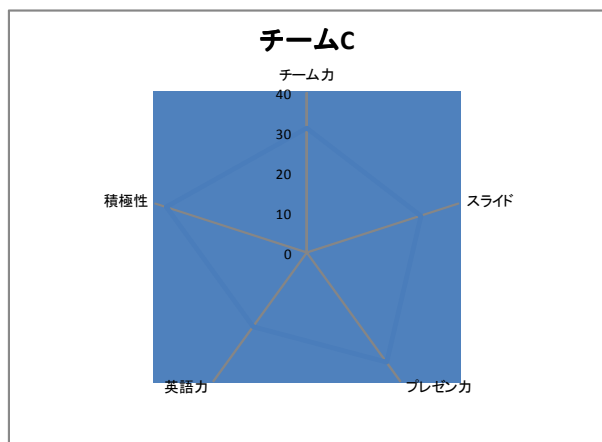
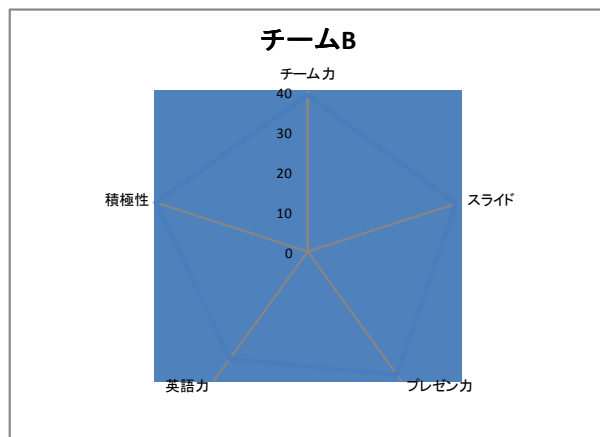
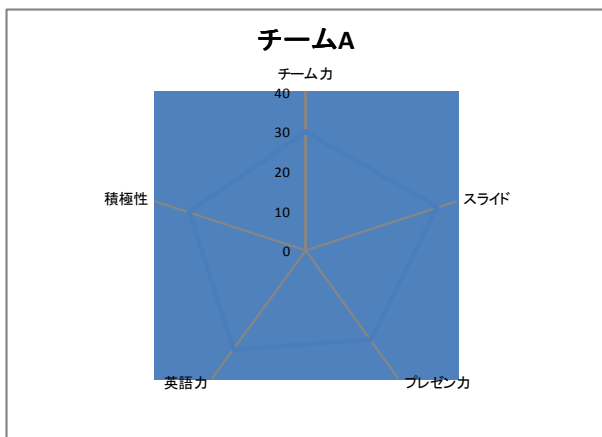
5) アンケート結果

プレゼンテーション報告会において、参加者に以下アンケートを実施した結果となります。

■最終結果

○アンケート評点

設問項目 チーム名	設問1(最高40点)					設問1合計	設問2				設問2合計
	チームカ	スライド	プレゼンカ	英語力	積極性		とても良い	良い	普通	頑張れ	
チームA	30	35	28	31	31	155	1	5	3	0	9
チームB	39	39	38	33	40	189	7	2	0	0	9
チームC	31	30	34	23	37	155	1	8	0	0	9
チームD	35	35	40	40	40	190	5	4	0	0	9



○各チームへの感想／指摘（聴講者からのフリーアンサー）

<p>チームA</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語は上手でした。発表はアイコンタクトして下さい。チーム分担が少し不均衡。PPT に工夫がない。 ・もっと元気よく発表すべきでした。 ・システム開発におけるポイントを正確に理解できている。また、記載内容についてもポイントをしっかりおさえておいて素晴らしい。 ・役割分担が良くできている。レクチャーが理解でき、自分のものになっている。 ・もう少し元気に。プレゼンはよくまとまっていた。 ・英語のプレゼンも良かった。原稿を見ないで出来るともっと良かった。 ・スライドがとてもわかりやすかったです。 ・スムーズに進行出来ていた点が良かった。
<p>チームB</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真多用が良かった。文字が少なく簡素。各項目の所感が良かった。年齢層が高い分有利か。 ・楽しい発表で良かったです。 ・資料作りがとても上手。また、プレゼン分担も見事で、チームワークの良さを垣間見せる事が出来たプレゼンでした。 ・話は面白い、アイデアは良い。レクチャーの話はあまりなかった。 ・スライドストーリーが良い。 ・チームワークが良い。 ・原稿を見ずプレゼンしていて素晴らしかったです。楽しさも伝わってきました。 ・役割分担が良くできていた。
<p>チームC</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだ事のサマリーが分かり易い。PPT は少々文字が多い。英語は上手でないが頑張った。 ・担当割が不平等。もっと全員で発表出来たらよかったね。 ・プレゼンを通して研修に真剣に参加した様子が伺えた。資料も上手くまとめられていたと思います。 ・元気で良いプレゼンター。全般にまとまっているが。 ・チアリーダー＝本命リーダーですね。 ・学んだプレゼン方法を実践されたように感じました。 ・プレゼンターが元気で良かった。
<p>チームD</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構成に工夫があった。英語も多用。感情豊かで流れも良かった。完璧ですね。 ・チームが良くまとまっていたよ。 ・英語プレゼンが素晴らしくインプレッシブでした。 ・対話型のプレゼン力は非常に良い。レクチャー内容の深堀が必要かな。 ・チャレンジ精神、Good！ ・英語を多用してプレゼンを進めた点を評価したい。 ・会話形式がわかりやすくとても良かったです。学習効果の表れたプレゼンテーションであった。

■ アンケート個票

1. プレゼンテーションについて、下記の項目から選択して○で囲んでください。

	チームカ チームの協力関係などの視点	スライド スライドの見易さや伝わりやすさなどの視点	プレゼンカ (巧みさ) 説明手法などをみた場合のプレゼンの巧みさ	英語力 プレゼン内での英語表現についての伝わりやすさ	積極性 (意気込み) プレゼンに対する意気込み (積極性)
チーム名	高 ← 評価点 → 低	高 ← 評価点 → 低	高 ← 評価点 → 低	高 ← 評価点 → 低	高 ← 評価点 → 低
チーム A	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
チーム B	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
チーム C	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
チーム D	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1

2. 以下の設問の選択肢に? をいれてください。

総合評価	チーム A	<input type="checkbox"/> とても良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 頑張れ			
		感想/指摘			
	チーム B	<input type="checkbox"/> とても良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 頑張れ			
		感想/指摘			
	チーム C	<input type="checkbox"/> とても良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 頑張れ			
		感想/指摘			
	チーム D	<input type="checkbox"/> とても良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 頑張れ			
		感想/指摘			
プレゼンテーション運営についてのご意見・ご感想等					
海外研修企画についてのご意見・ご感想等					
企業名			部署・役職名		

6.その他

○キャリア形成促進助成金の利用

・制度概要

職業訓練などを実施する事業主等に対して訓練経費や訓練中の賃金を助成し、労働者のキャリア形成を効果的に促進。

※ 事業主にあつては、事業内職業能力開発計画・年間職業能力開発計画を作成するとともに、職業能力開発推進者を選任することが必要

※ 事業主団体等にあつては、訓練実施計画を作成することが必要

※ 1 コースあたり 20 時間以上（海外で実施する訓練の場合は 30 時間以上）の訓練が対象

助成内容			助成額
① 政策 課題対 応型訓 練	①成長分野等 人材育成コース		健康・環境などの成長分野等での 人材育成のための訓練
	②グローバル 人材育成コース	大企業・ 中小企業	海外関連業務に従事する人材育成 のための訓練(海外の大学院、 大学、教育訓練施設などで実施す る訓練も含む)
	③育児中・後職後等 能力アップコース		育児休業中・後職後・再就職後の 能力アップのための訓練
	④中長期的キャリア 形成コース		中長期的なキャリア形成に資する 教育訓練として厚生労働大臣が指 定する専門実践教育訓練
	⑤若年人材育成コース	中小企業	採用後 5 年以内で、35 歳未満の若 年労働者への訓練
	⑥熟練技能 育成・承継コース		熟練技能者の指導力強化、技能承 継のための訓練、認定職業訓練
	⑦認定実習併用 職業訓練コース		厚生労働大臣の認定を受けた OJT 付き訓練
	⑧自発的職業能力 開発コース		労働者の自発的な能力開発に対す る支援
②一般型訓練	中小企業	政策課題対応型訓練以外の訓練	賃金助成：1h 当 たり 400 円 経費助成：1/3
③団体等実施型訓練	事業者団 体等	事業主団体などが構成事業主の雇 用する労働者を対象に行う、若年 労働者への訓練や熟練技能の育 成・承継のための訓練	経費助成：1/2

※経費助成の 1 人 1 コースの支給限度額は、①①～④は 15 万円～50 万円（大企業は 10 万円～30 万円）、①⑤～⑧及び②は 7 万円～20 万円

※1 事業主の年間の支給限度額は、500 万円（認定職業訓練又は①⑦の場合は 1,000 万円）、1 事業主団体等の年間の支給限度額は 500 万円

※助成の対象となる訓練等の受講回数は、1 労働者につき、1 年度 3 コースまで

※東日本大震災に伴う被災地の事業主については、助成率の特例あり（中小企業：賃金 800 円 (1h)・経費 1/2 大企業：賃金 400 円(1h)・経費 1/3)

・グローバル人材育成コースの解説

海外関連の業務※に従事する労働者を育成するための訓練を実施した場合に助成が受けられる訓練コース。

※海外事業拠点での事業展開、海外への販路開拓、販売網の拡大、輸出、海外の企業との提携・合併などの海外事業を実施するに当たって生じる、① 海外生産・事業拠点における管理業務、② 海外市場調査、③ 提携、販売などの契約業務④ 国際法務など海外事業に関連した業務を指す。

訓練対象者	雇用保険の被保険者
基本要件	<ul style="list-style-type: none"> ●Off-JTにより実施される訓練であること (事業主自ら企画・実施する訓練、または教育訓練機関が実施する訓練) ●助成対象訓練時間が20時間以上であること (海外の大学院、大学、教育訓練施設などで実施する訓練は30時間以上) ●海外関連の業務を行っている(計画を含む)事業主が、労働者に対して実施する海外関連の業務に関連する訓練であること
実施訓練例	<ul style="list-style-type: none"> ●語学力・コミュニケーション能力向上のための講座などの受講 ●リーダーシップ、文化理解などグローバルな行動特性を養成するための講座などの受講 ●国際法務、国際契約、海外マーケティング、地域事情に関する講座などの受講

○利用実績

- ・本研修講座は上記の助成金適用対象として構成し、参加企業による個別対応で申請を行った。
- ・個別対応の申請に際しては個別サポートを実施した。
- ・利用企業：2社